

ISSN 0386-6467

修道法学

第 29 卷 第 2 号

(通卷第 57 号)

2007年 2 月

- 論 説 パブリック・ディプロマシー研究の射程 三上 貴教 (246) 1
 日中関係の基本構造とその変動 王 偉彬 (1)
 日本の「個人情報保護法」の問題点 北原 宗律 (224) 23
- 研究ノート 『朝日』『読売』社説の中の国益概念
 ——討議を阻む言説の問題—— 三上 貴教 (23)
- 資料紹介 広島における陪審裁判
 ——昭和初期の芸備日日新聞・中国新聞の報道ならびに
 刑事判決原本を中心にしてみる陪審裁判——
 広島修道大学「明治期の法と裁判」研究会 (45)

広島修道大学法学会

二〇〇七年二月二十八日発行(年一回発行)

修道法学 第二十九卷 第二号(通卷第五七号)

二〇〇七年二月

SHUDO HOGAKU

(Shudo Law Review)

Vol. 29 No. 2

February 2007

- Articles:** A Range of Studies on Public Diplomacy
 Takanori MIKAMI (246) 1
- Basic Structure and Its Transformation in China- Japan
 Relations WANG Weibin (1)
- Problems in Personal Information Protection Act
 of Japan Munenori KITAHARA (224) 23
- Note:** Notions of National Interest in Editorials of the Asahi
 Shimbun and the Yomiuri Shimbun: Problems of
 Hampering Democratic Deliberation
 Takanori MIKAMI (23)
- Material:** Jury Trials in Hiroshima
 Research Group of Hiroshima Shudo University
 for Laws and Justice in the Meiji Era (45)

Hiroshima Shudo Daigaku Hogaku-kai

(The Law Association of Hiroshima Shudo University)

本号執筆者紹介

三上貴教	広島修道大学	法学部教授
王偉彬	広島修道大学	法学部教授
北原宗律	広島修道大学	経済科学部教授
緑大輔	広島修道大学	法学部助教授
増田修	広島弁護士会	弁護士
加藤高	広島修道大学	名誉教授
紺谷浩司	西南学院大学大学院 広島大学	法務研究科教授 名誉教授

<p>修道法学</p> <p>第29巻 第2号</p> <p>(通巻第57号)</p>	<p>2007年2月20日 印刷</p> <p>2007年2月28日 発行</p>
<p>編集委員</p> <p>市川太一</p> <p>豊田博昭</p> <p>(委員長) 城忠彰</p> <p>安井威興</p> <p>矢部恒夫</p>	<p>発行者 川本明人</p> <p>編集者 広島修道大学法学会</p> <p>発行所 広島修道大学法学会</p> <p>731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号</p> <p>広島修道大学法学部内</p> <p>電話 (082) 830-1114</p> <p>印刷所 レタープレス株式会社</p> <p>広島市安佐北区上深川町809-5</p> <p>電話 (082) 844-7500</p>

前号(第29巻 第1号) もくじ

	献辞	法学部長 大熊 忠之
論 説	「会社の合併」考	大賀 祥充
	核拡散問題とその対策の多様性	
	——とくに武力行使について考える——	山田 浩
	A Proposal for a Reformed and Strengthened United Nations Security Council	Richard Barron Parker
再考 人間の条件		
西欧の政治観と儒学的統治理念の位相	大熊 忠之	
「第二の北朝鮮核危機」と米外交		
——プッシュ政権(第一期)の「強硬関与」		
政策に関する考察——	菱木 一美	
道路の安全性		
——ガードレール未設置による		
道路管理瑕疵について——	北原 宗律	
無令状捜索押収と適法性判断(3・完)		
——憲法35条による権利保障——	緑 大輔	
研究ノート	私立大学の非常勤教員の法的地位について	清野 惇
	国籍法における非嫡出子差別	
	——平成一八年三月二九日東京地裁	
	違憲判決をめぐって——	山本 敬三
紹 介	明治初年代、民事裁判呼出に遅不参の者	
	処分の一事例	
	——明治九年三月 山口裁判所民事課の	
	「決議録」調査報告・その四——	
	広島修道大学「明治期の法と裁判」研究会	
	ハセマー「なぜにいかなる目的で処罰するのか」	新谷 一幸
	ラインハルト・ダム著	
	「民事法からみた法的リスク規制」	増田 栄作
資 料	卒業生からのメッセージ	
	——教育と職業に関するアンケート調査	市川 太一